

## 令和4年10月 教育委員会定例会議事録

- |          |  |  |
|----------|--|--|
| 1. 日 時   | 令和4年10月27日（水） 午後2時00分開会<br>令和4年10月27日（水） 午後3時25分閉会   |  |
| 2. 件 名   | 河南町教育委員会定例会  |  |
| 3. 開催場所  | 河南町役場 301・302会議室   |  |
| 4. 出席委員  | 教育長 中川 修<br>教育長職務代理者 西川 幹雄<br>委 員 高井 美恵子<br>委 員 杉田 みはる   |  |
| 5. 欠席委員  | 委 員 藤原 充   |  |
| 6. 事務局職員 | 教・育部長 湊 浩<br>教・育部副理事兼指導主事 内山 裕生<br>教育課長 中海 幹男<br>こども1ばん課長 山田 恵<br>生涯まなぶ課長 森 弘樹<br>給食センター所長 梅川 茂宏 |  |

(審議内容)

教育長	<p>秋本番になってきたところです。読書の秋とか、スポーツの秋とか、秋は本当に楽しみがたくさんあるかなと思っております。</p> <p>その中で、今日も挨拶というか、その中で、読書のことについて触れたいと思っています。</p> <p>本を読むことで未来が開かれるという、よく、学校だよりで書いたことがあるのですが、本日、10月27日から読書週間、11月3日の文化の日の前後1週間ということで、戦後2年ぐらいから続けられているということで、今年で76回目。</p> <p>「いざ読書」とか、いつも標語があって、調べてみたら、今回の標語は「この1冊にありがとう」。心惹かれるタイトルだと思います。</p> <p>かく言う自分は、そんなに読書をする方でもないですけども、とにかく本に触れたいなと毎年思う時期でした。</p> <p>そもそも、76年前に良書の普及であるとか読書の奨励目的に設定されたということで、全国各地でいろんな取り組みもされるとのこと。</p> <p>春には、子ども読書という週間があって、その時には図書館祭りを開催させていただいています。そういう意味では、全国でこの秋にも様々なイベントがあると思います。</p> <p>この中には読書を親しまれる方もおられると思いますし、こんなことを聞いたことがありますか。「家読」と書いて、読み方は「うちどく」というらしいのです。聞かれたことがありますか。</p> <p>これは何かというと、家族で同じ本を大人も子どもも読んでみる。読んだ後に、僕はどう思った、私はどう思った、お父さんはどう思った、お母さんはどう思った。そんな話をする中で、家族で時間を持てるということもあるし、</p>
-----	--

	<p>何か話題の本の中身によっては、自身に関わるようなことであるとか、文学的なものであったり、そういう意味ではもう家族もこの秋ぐっと仲良くなれるとか、そこからまた、いろんな話をする中で、新しいことに触れているとか。</p> <p>本を通していろんなことができる、そんな時期かなと思っていますので、別に秋に限らずずっとやっているという方もおられるかもしれませんが、この時期、大人も子どもも、学校の方でも、おそらく読書週間の取り組みもあるだろうから、それをまた共有できたらなと思っています。そうしましたら、今日もどうぞよろしくをお願いします。</p> <p>それでは、令和4年10月の教育委員会定例会を開催します。</p> <p>それではまず初めに、本日の定例会については、傍聴者はございません。</p> <p>次に、本日の出席者は4名です。定足数を満たしていますことをご報告いたします。</p> <p>次に、会議録署名委員は、河南町教育委員会会議規則第17条の規定により、西川委員に決定してよろしいでしょうか。</p>
委員全員	———異議なしの声あり———
教育長	<p>ご異議がないようですので、会議録署名委員は西川委員に決定いたしました。</p> <p>それでは議事を進めさせていただきますが、本日は議案がありませんので、第2の諸報告、その他について進めさせていただきます。</p> <p>まず、「(1) 令和5年度大阪府新学力テスト(愛称:小学生すくすくウォッチ)について」事務局から説明を求めます。お願いします。</p>
事務局	「(1) 令和5年度大阪府新学力テスト(愛称:小学生すくすくウォッチ)について」 資料に基づき説明
教育長	<p>今のこの件について、すくすくウォッチの件について質問等ございますか。</p> <p>ないようですので、では次に、「(2) 第26回子ども科学賞典・読書感想文コンクールについて」事務局からの説明を求めます。</p>
事務局	「(2) 第26回子ども科学賞典・読書感想文コンクールについて」 資料に基づき説明
教育長	<p>この件について何か確認、あるいはご質問等ございますか。</p> <p>それでは、今説明がありましたとおり、お願いします。</p> <p>次に「(3) 令和5年度小学校新1年生児童数及び児童生徒見込数について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	「(3) 令和5年度小学校新1年生児童数及び児童生徒見込数について」 資料に基づき説明

委員	<p>すごく減りましたね。</p>
事務局	<p>減りました。3、4年ぐらい先になってくると、今のちょうど1歳のお子さんで、近つ飛鳥小学校区で31人、かなん桜小学校区で36人と、もう単学級のクラスになります。</p> <p>次の0歳でいくと、近つ飛鳥小学校で36人、かなん桜小学校で30人ということで、もう少し増えてくるかもしれません。</p> <p>あと4、5年しますと、単学級がそろそろ続けて出てくるような状況になりつつあるということで、もう1枚が来年度、令和5年度のそれぞれの児童生徒数見込み数になります。</p> <p>今年度の1年生から5年生のスライドで、2年生から6年生のみ上げさせていただいております。</p> <p>小学校につきましては、今年度9月末現在で717人が673人と。約40人の減となります。</p> <p>中学校につきましては、415人になるのですがこの1年生147人については、今の現6年生をそのままこへ上げさせていただいているのですが、ここから私学に行く子どもさんも、それと府立の支援学校等々、国公立含めて行かれる可能性がありますので、通常、大体1割前後ぐらいの子どもさんが、若干減ります。</p> <p>参考に今年度については、9月末現在で391人というかたちになっております。</p> <p>いろいろと施策を打っていますけども、少子化の波は避けて通れないという状況です。</p>
教育長	<p>かなん桜小学校の方が、校区が広くて校区ごとに分けている、旧小学校区に分けて、3段書きになっています。白木地区は1桁になっています、来年度、中村地区が17人です。</p> <p>かなん桜小学校の中でも、さくら坂南が多い傾向でしたが、その辺もまた、少しく変化が出ています。</p> <p>と同時に、近つ飛鳥が300人です。この人数はここ数年、そんなに変わっていません。</p> <p>ところが、かなん桜小学校は、開校当時456人ですから、年々減っています。</p> <p>なので、今後の見通しで言っても、今、事務局から説明があったように、そのうちかなん桜小学校と近つ飛鳥小学校が、ほぼ同数になってきます。</p> <p>この件については、何かありますでしょうか。</p> <p>ないようですので、次に「(4) 令和4年度南河内地区市町村教育委員会研修会について」説明をお願いします。</p>

事務局	「(4) 令和4年度南河内地区市町村教育委員会研修会について」 資料に基づき説明
教育長	この件について質問等、ございますか。よろしいですか。 では、次、「(5) 令和4年9月定例会議 一般質問要旨 (教育委員会関係) について」説明をお願いします。
事務局	「(5) 令和4年9月定例会議 一般質問要旨 (教育委員会関係) について」 資料に基づき説明
教育長	今の説明について何かご質問ございますか。よろしいでしょうか。 それでは、「(6) 河南町民生委員推薦会委員の任期満了に伴う推薦について」 事務局から説明をお願いします。
事務局	「(6) 河南町民生委員推薦会委員の任期満了に伴う推薦について」 資料に基づき説明
委員	引き続き、西川委員にお願いしたいのですが。
事務局	前回、西川委員に推薦をお願いしたのは、職務代理者というかたちで、定例 会でお諮りしまして、教育長から西川委員にお願いしたいという経緯がありま す。
教育長	この場で推薦の方をということでご意見を伺いたいなと思っていたのです が、引き続き、西川委員という声もいただきましたので、職務代理者でもあり ます西川委員にお願いできればなと思います。よろしいでしょうか。
委員全員	——異議なしの声あり——
教育長	それでは、西川委員を推薦したいと思いますので、西川委員、どうぞよろし くお願いします。
教育長	次に、最後になりますが、「(7) その他」について進めさせていただきます。 何か事務局からございますか。
事務局	お手元の方に11月5日の文化祭典の開会式、出席依頼文が届いております ので、よろしくお願いいたします。
教育長	他、何か事務局からありますか。

事務局	<p>教育委員会の話ではないのですが情報提供だけです。かなんタウンミーティング。町長はじめ、特別職、部長級それぞれが地域に行きましてタウンミーティングを開催します。</p> <p>予定としては、11月12日、土曜日、19時から21時の2時間の中で、白木地区はかなんピアの方で開催をされます。</p> <p>続きまして、次週の19日、土曜日、これは19時から21時で、大宝地区は近つ飛鳥小学校体育館の方で実施をいたします。</p> <p>次に、翌日の20日、同じく19時から21時が、石川地区で、石川こども園で同じ時間帯です。</p> <p>それと、23日、河内地区ですが、同じ時間帯でかなん桜小学校体育館。</p> <p>ラストは27日、中村地区ですが、中村こども園の方で同じ時間帯でタウンミーティングが開催されます。</p> <p>もしよろしければ、また参加していただいて、いろんな町長の話聞いていただければと思います。</p>
教育長	<p>今、事務局から情報提供がありました。他委員さんからはないですか。</p>
委員	<p>情報提供ですけども、1週間ほど前に研究会がありまして、大阪府教育推進連盟ってあるんですけども、そこに参加させていただいて、お話をさせていただいた中の話題として、デジタル化についての話題がありました。</p> <p>河南町の方の立場で話をさせていただいたんですけども、先日、近つ飛鳥で英語の授業を見せていただいて、子どもたち非常にタブレットを上手に使って、すごく進んでいるという話をさせていただいたのです。</p> <p>大学の先生が来ていただいて、お互いに交流したのです。</p> <p>そういういい面と、光と影の部分で、一つ影の部分も話題になったのです。</p> <p>どういうことかということ、デジタル化が進めば、いろんな子どもたちにも影響が出ているのではないかと。</p> <p>教育の中で言うと、一つは、タブレットは答えをすぐに出してくれる。子どもたちは考えなくてもいい。というような答えを出している子が結構たくさん出て、そのことについて、皆さんどう思いますかということでも話題提起があったのです。</p> <p>いろんな先生方の中には、こういう意味で、しっかりいろんなものを考えて調べて、そこへ行き着いたときに、学びの喜びとか、これで良かったでも、そのデジタル化が進めば、もう考える必要がなくて、もうすぐにその結果が出てくる。</p> <p>端的な例で言うと、三角形の面積は、調べたらすぐに底辺×高さ、もう公式がすぐ出てきて、あるいは球の面積がどうか、数学で言ったらそんなことがいっぱい出てきているとか。</p> <p>実際に円の面積がどうか、どういう形で求めていくとかです、そういう考える力が、デジタル化が進めば、弱くなるのではないかとということがある。デジ</p>

タルで読書するのと実際に本で読書するのと、あとの振り返りは全然違う。

本で読んだら、場面がもうぱっと見ただけで思い浮かぶのだけど、デジタルではそういうことがないというようなことで、結構、どちらか良い面、これをどんどんデジタル化進むけども、マイナス面も、あるのと違うかいうことで懸念されていて、今日もGIGAスクール構想の話題があって、こういう答えで僕はいいと思いますけども、ただ、光と影の部分も、子どもたちにも保護者にも知らせていく必要があるではないかという、この前の研究会を受けた感想なのです。

デジタル教科書も、これから、進んでいくのですけども、紙ベースを残すということで、今の話は、もう、もちろんデジタル教科書もできるのだけど紙ベースもするというで。

結論から言うと、特に小学校、義務教育は、主が紙で、デジタルは従という考え方で、話がまとまったような感じをしたのです。

でも、デジタルはこれが絶対大事なことなので、子どもたちにも身につけていかなければいけないし、特にどの辺かな、メディアリテラシーとか、あるいは情報モラルとか、重ねてですね、子どもたちにも指導していかなければいけないというのがありました。

だから、私たち事務局の方でも、GIGAスクール構想の中で、こういうふうがいい面ばかり、こう予算的な面だけでなく、そういう懸念される場所もしっかり押さえながら、GIGAスクール構想を推進していくということも、こういう定例会の場でも示していく必要があるのではないかと。

もう一つ大事なことだったのは、タブレットについてです。

タブレットも、小学生の子供なんかでも、調査したら、約半分近くが、目的と違う内容で子どもたちが見ている。

例えば、先生方が何を見ているのかわからないというようなことで、調べてみたら、漫画を見ていて、そのタブレットを取り上げたというような事例も上がっていました。

だから、目的外使用で使っているのも約半分近くあるというとか、あるいは東京都なんかで、ある学校では、中学校の子が、有害サイトに入ってしまうということで、持って帰らさない。約2割の学校が、自宅にタブレットを持って帰らせないというようなこともやっているような、そういうような面は気になると思って聞いておいたのです。

これから絶対にデジタルは進んでいくのだけど、その部分をしっかり抑える必要がある。

一つ、新しい言葉を教えていただいたのですが、「見逃しの恐怖」。これはどういうことかという、中学生・高校生のレベルにスマホを机の上に置かせて、もちろん電源を切ってテストしたのと、完全にもうスマホを外して、テストしたら、結果が違って、スマホを電源切って置いている方が成績が悪かったのです。

それはなぜかという、脳の中に「スマホを見なさい、スマホをしなさい」

	<p>という命令が出て、スマホを置いているだけで、脳の働き、要するに、学習する力が非常に弱くなって、評価が悪くなった。</p> <p>これは何かフランスの学者が見つけたようで、「見逃しの恐怖」といって、頭の中で「これを見逃したら大変」とか働く。スマホの電源切っているのに、ですよ。</p> <p>テレビを見ていたら、若い女の人なんかも、スマホがなかったら生きていけない。もう24時間、スマホ見ている、俗にいうスマホ脳に近づいていくのではないかという懸念も出ていました。</p> <p>デジタル化の光と影について、特に、影の部分も、大事にしなければならない。</p>
教育長	<p>今の委員からの参考というお話いただきましたが、何かお感じになることとか、質問してみたいなということはいかがですか。</p>
委員	<p>おっしゃる通りだと思う。</p>
委員	<p>河南中学でもどうなのかなあとか、近つ飛鳥小学校でどうなのかなとか、かなん桜小学校ではどうなのかなというのは、とても気になって。</p> <p>でも、この前近つ飛鳥小学校を見せていただく感じでは、全然そんな雰囲気なしで、非常にすばらしい授業だったので、どんどん進めていただけたら。</p>
事務局	<p>事務局としましては、先ほどGIGAスクールのお話をさせていただいたと思うのですが、GIGAスクールのこの端末というのはメインではなくて、あくまでも道具の一つというかたちで学校に渡しております。</p> <p>最近、新聞記事の中でも、今ある授業内容をデジタルに変えるのではなくて、デジタルのよさを追加するんだというようなところで進めている学校もあるのです。国の方もそのように言っています。我々も学校にそういうように言っております。</p> <p>今までできなかった不登校の子のために、その授業をオンラインで見せることができる。これも一つの手法で、そういうかたちで、今までできなかったデジタルの力を使って、幅広い教育ができたらなと思いますので、委員のおっしゃっていただいた部分を参考にしながら、また学校と協議して進めていきたいなと思います。</p>
委員	<p>例えば、この前、立命館小学校の授業の発表を聞きました。</p> <p>インターネットでNASAに入って、NASAの様子について子どもたちが調べた。要するに、もう時間を乗り越えたりとか、場所を乗り越えることができるというデジタルのいいところあります。</p> <p>本当の活用の仕方を教えてあげることが大事。デジタル化の有効性について、あるいは、将来性についてしっかりと子どもたちにも、教えてやっていただき</p>

教育長	<p>たいと思います。</p> <p>教育委員会のこの場でこうした議論がされることが大事だと思います。</p> <p>「先生が指示したこと以外のことでしたら駄目ですよ」と言っても、やったらいけないことをする子も出てくると思うのです。</p> <p>そのときに、どうしていくのかということも含めて、当然それは学校も考えますし、委員会事務局も考えるし、でもこの場で、皆さんそれぞれが思っていることを協議していきながら、河南町教育委員会の考えとしては、こうであるということ、この場でいろいろ話していくことも、教育委員会としては大事と思っていますので、よろしくをお願いします。</p> <p>その他、もうよろしいですか。</p>
委員	<p>今回、コロナ等に対応してのこのオンライン授業に関しては、すごくありがたかったです。</p>
事務局	<p>学校の方も、中学校が先頭切ってやっています。</p> <p>学校も試行錯誤しながら、その中で課題が出れば解決していきたいと、ICT推進委員会もやっておりますので、その中で課題が出れば、予算要求しながら、いろんな指導が必要であれば、協議しながら指導内容を決めていくかたちでやっていきたいと思っていますので、いろいろご意見いただけたらなと思います。</p>
教育長	<p>他よろしいですか。</p> <p>以上をもちまして、本日の議事日程はすべて議了いたしました。</p> <p>これをもちまして10月の教育委員会定例会を閉会いたします。</p> <p>次回、令和4年11月24日午後2時からの開催といたしますので、よろしくをお願いします。本日はご苦労さまでした。ありがとうございました。</p>

令和 年 月 日

教育長名

署名委員名